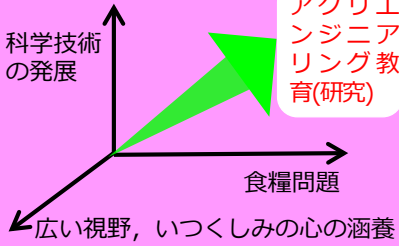


<大分高専> アグリエンジニアリング教育（研究）の導入

食糧問題を切り口とした、
新たな「ローカルにしてグローバルな視点を持ったエンジニア」の育成



【工業:ものづくり】

エンジニアの新たな活躍の場の創出

- 工業製品や情報システムの輸出
- 生体メカニズムによる新技術の創出



【農業:いきものづくり】

国内問題(ミクロ) & 世界的問題(マクロ)
まずは国内問題から
(儲かる農業・輸出産業化をめざす)

日本農業の課題

- ①農業従事者の高齢化, ②狭隘な農地, ③高コスト・低収益率



農業の工業技術化

農作業ロボット、防災管理、農業用各種機械・水揚送システム、土壌・液肥・ガス・成長管理、センシング技術



大分高専学習・教育目標

◆ 愛の精神

世界平和に貢献できる技術者に必要な豊かな教養, 自ら考える力, **いつくしみの心**を身につける

◆ 専門工学活用

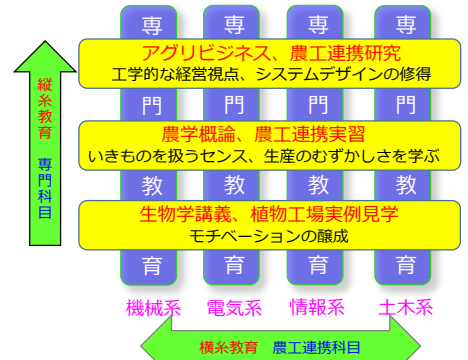
専門工学の知識を修得してその相互関連性を理解し, **これを活用**する力を身につける

学生にとっての「いきものづくり」 → 「喜び: 生命の大切さを実感」
「希望: 将来の活躍の場の拡大」

エンジニアの新たな活躍の場の創出
&
ローカルにしてグローバルな視点を持ったエンジニア育成

① アグリエンジニアリング教育カリキュラムの推進

- 「ものづくり」と「いきものづくり」の違いを体感的・効率的に理解させるには
- エンジニアに必要な農学の素養とは
- 農業現場もエンジニアの働く場であるとの使命感を持たせるには
- 生物/農学概論/アグリビジネス/実験・実習/見学など



農工連携教育カリキュラム修了

② アグリエンジニアリング研究の積極的推進

- 収穫作業の自動化
- LED照明
- 栽培床土壌管理
- 栽培システム

